

自治会自主防災組織による住民総参加型の総合防災訓練を雨模様の中、実施しました。8時、訓練発災放送があり、役員が自宅から公民館に向かう、実際に想定した災害対策本部開設から開始しました。その後、①組長の防災無線設備を使った安否確認実施放送を機に、現・新班長は各戸の安否確認を行い組長へ報告、②組長は無線機を使って本部へ報告、③本部は報告をまとめ全住民の安否状況掌握、という手順を確認しました。次に、④各組別に消火栓の取扱い訓練（防災顧問・組長・班長）、⑤公設消防団による放水ホース接続及び水消



1 point

「我が家は全員無事です！」を表示する白いタオル運動は、4年前から導入し、安否確認が短時間で済む利点があります。今回の白いタオル表示は、60%、全住民の安否確認に要した時間は、約1時間でした。実際、約1時間で行くことができたことが、期待されています。

また、日赤救急指導員を要請して、心肺蘇生法とAED取扱い講習会を行い、黒石団地区在住の防災士によって熊本地震パネル展や県提供簡易トイレの配布がありました。

3月3日 第8回黒石団地区総合防災訓練実施

第60号

ふれあい

発行責任者

黒石団地区自治会

区長 阪口隆利

編集者

河添洋子

◆熊本震災パネル展 防災士による啓発展



班長⇒組長へ安否確認報告



8:00 訓練発災放送後、役員参集
本部長⇒各組長へ安否確認指示

◆心肺蘇生&AED講習 日赤救急法指導員



詳しい心肺蘇生法は、日本赤十字社のHPから「一次救命処置の手順」で確認することができます



炊き出し訓練(公民館調理室)



長期保存型備蓄食の炊き出し



水消火器取扱い訓練



放水ホース接続訓練

2/28 電線に被さっていた高木が伐採されました【黒石公園】

電線が、分岐交差しているため、枝葉の伸長繁茂による剪定作業が多くなり、強風時に枝が折れる恐れがあったりするなど住民生活への影響を考慮して、公園内の4本の高木が伐採されました。

代表例



(左の写真の反対側から撮影)

数年前から、これらの砂場には猫のフン苦情がありました。その影響もあり近年は子どもが砂場で遊ぶ姿が見られなくなりました。一つの公園管理団体から、砂場のままでは、フンを取り除いたり、硬くなった砂をほぐしたり、入れ替えたりする作業があるため、使われないのであればと、撤去要望が出ましたので、類似の公園を含めて意向を確認し、市との協議を経て撤去に至りました。今後は、公園の美化清掃を維持して、住民の憩いの場となりますように。

2/11 公民館駐車場カーポート設置

自治会保有の青パト車の長期耐用のため、設置しました。イベント時の代用テントとしての活用を見込み、一面記事の総合防災訓練の際は、対策本部を設置しました。駐車台数は従来通りです。



2/28

児童公園の 使われなくなった砂場が撤去されました【5ヶ所】

代表例



重点要望項目の蓋なし側溝が改良されました【東組】

3/4

45年の歴史を持つ黒石団地区は、初期の開発造成地の一区画に、蓋のない側溝が残っていました。近年は、住宅地の排水施設の整備が進み、安全面からも蓋付き側溝が敷設されてきました。

住環境の平等化と、隣接区の発足によって、通学児童、生徒をはじめ、歩行者や自転車、車両の往来が増えたことによる転落防止のために住民要望が上がり、5年に亘り市に要望を続けて、待望の工事が完了しました。

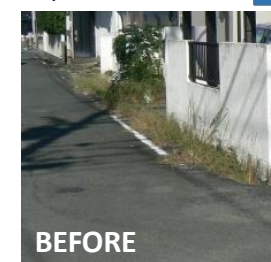
BEFORE



6班・7班



5班



–2–